

## 序

一般国道9号鳥取西道路の改築に伴う発掘調査は、平成20年度から着手されました。平成20年度は鳥取県直営の事業となり、鳥取県埋蔵文化財センターが担当することとなりました。

そのうち、松原古墳群では、古墳時代後期の残りのよい古墳10基などを調査することができ、当地域の歴史を解明するための重要な資料を確認することができました。

また、埋蔵文化財センターでは、発掘調査により明らかとなった遺跡や出土品を活用し、その普及啓発に努めることも重要な業務としております。

松原古墳群では現地説明会を開催し、県内外から多くの方々に御参加いただき、その素晴らしさ、重要性を実感していただきました。

本書はその調査結果を報告書としてまとめたものです。この報告書が、郷土の歴史を解き明かしていく一助となり、埋蔵文化財が郷土の誇りとなることを期待しております。

本書をまとめるにあたり、国土交通省鳥取河川国道事務所、地元関係者の方々には、一方ならぬ御指導、御協力を頂きました。心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

平成22年3月

鳥取県埋蔵文化財センター  
所 長 久保 穰二郎

## 序 文

一般国道9号は山陰地方を東西に結ぶ主要幹線道路であり、西日本日本海沿岸地域の産業・経済活動の大動脈として、地域住民の生活と密着し大きな役割を果たしています。このうち、国土交通省鳥取河川国道事務所は、鳥取市気高町から岩美郡岩美町（鳥取－兵庫県境）までを管轄しており、時代の要請に沿った各種の道路整備事業を実施しているところです。

鳥取西道路は、鳥取市本高から同市青谷町にかけての、一般国道9号の交通渋滞の緩和、災害時や緊急時における緊急輸送の代替路線としての機能分担などを目的とし、さらに、山陰の地方都市間の連携を強化するとともに、環日本海交流の基幹軸の一翼を担う高規格幹線道路（自動車専用道路）として整備を行っています。

このルートには、多数の埋蔵文化財包蔵地がありますが、平成20年度は「松原古墳群」、「本高弓ノ木遺跡」について鳥取県教育委員会と協議を行い、文化財保護法第94条の規定に基づき、鳥取県教育委員会教育長に通知した結果、事前に記録保存のための発掘調査を実施することとなり、鳥取県埋蔵文化財センターと発掘調査の委託契約を締結し、発掘調査が行われました。

本書は、「松原古墳群」の発掘調査の成果をまとめたものです。この貴重な記録が、文化財に対する認識と理解を深め、さらに、教育及び学術研究のために広く活用されることを願うと同時に、国土交通省においても文化財保護に努力していることをご理解いただければ幸いと存じます。

事前の協議をはじめ、現地での調査から報告書の編集にいたるまで御尽力いただいた鳥取県埋蔵文化財センターの皆さまに、心から感謝申し上げます。

平成22年3月

国土交通省 鳥取河川国道事務所  
所 長 重 高 浩 一

## 例 言

- 1 本報告書は、国土交通省鳥取河川国道事務所の委託により、鳥取県埋蔵文化財センターが国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査として平成20年度に行った、松原古墳群<sup>まつばら こふんぐん</sup>の発掘調査報告書である。なお、同年度に実施した本高弓ノ木遺跡<sup>もとだかゆみのき</sup>は、遺跡全体の極めて限られた範囲の調査であり、平成21年度に遺跡の大部分の調査が行われることから、本報告書には掲載していない。
- 2 本報告書に記載した松原古墳群の所在地は、鳥取県鳥取市松原198番地外である。調査面積は3,974.8㎡である。
- 3 本報告書で示す標高は、水準点KBM - B6を基点とする標高値を使用した。方位は、公共座標北を示す。なお、磁北は座標北に対し6° 1' 17"西偏、真北は約6' 49"東偏する。X：、Y：の数値は世界測地系に準拠した公共座標第V系の座標値である。
- 4 本報告書に記載の地形図は、国土地理院発行の1/25,000地形図「鳥取北部」・「鳥取南部」・「浜村」・「鹿野」、鳥取市発行の「鳥取市都市計画図」の一部を使用した。
- 5 本報告にあたり、方眼杭打設、調査前地形測量、調査後地形測量、調査前航空写真撮影、調査後航空写真撮影を業者委託した。
- 6 本報告書に記載した遺物の実測・浄書は鳥取県埋蔵文化財センターで行った。
- 7 本報告書で使用した遺構・遺物写真は調査担当職員が撮影した。
- 8 本報告書の編集・執筆は、調査担当職員がそれぞれ分担して行い、執筆者名を目次に記載した。
- 9 発掘調査によって作成された図面、写真などの記録類、出土遺物は鳥取県埋蔵文化財センターに保管されている。
- 10 現地調査および報告書作成にあたって、下記の方々に指導、助言、御協力いただいた。  
肥塚隆保、高妻洋成、脇谷草一郎、田村朋美、鳥取市教育委員会（敬称略）

## 凡 例

- 1 遺物の注記における遺跡名には「マツバラ」を略号とし、合わせて「遺構名、遺物番号、日付」を記入した。
- 2 本報告書では遺構名に略号を用いていないが、以下のものは調査時に遺構略号を用いた。  
竪穴住居跡：SI、段状遺構：SS、土坑：SK
- 3 本報告書における遺構番号は発掘調査時から変更したものがあり、両者の対応は本文第1章記載の新旧遺構名対照表に示した。
- 4 本報告書における実測図は、基本的に下記の縮尺で掲載したが、特殊なものについては、その都度縮尺を変更している。  
(1)遺構図 - 古墳墳丘：1/100・1/60、古墳主体部：1/20・1/40、竪穴住居跡・段状遺構：1/60、  
集石：1/20、土坑：1/40、埋設土器：1/40  
(2)遺物実測図 - 土器・土製品：1/4、鉄製品・銅製品：1/2・1/4、石製品：2/3・1/2・1/8、  
玉類：1/1
- 5 遺構図・遺物実測図に用いたトーンおよび記号は、特に説明がない限り以下のとおりである。  
■：古墳盛土、■：旧表土層、■：地山、■：赤色塗彩範囲  
F：鉄製品、S：石製品、J：装身具(玉類・耳環)  
遺物出土ポイント：●(土器類)・△(鉄製品・銅製品)
- 6 遺物実測図の断面は須恵器を黒塗り、それ以外のものは白抜きで示した。
- 7 遺物観察表の法量記載における※は推定復元値、△は現存値を示す。
- 8 本報告書における遺構・遺物の時期決定は下記参考文献に基づいている。  
なお、古墳時代の時期表現は文献6(和田編年)に基づく。各種編年との対応は以下のとおり。  
後期前葉：和田編年9期 (文献7の8期、文献4のTK23・TK47型式期に対応)  
後期中葉：和田編年10期 (文献7の9期、文献4のMT15・TK10型式期に対応)  
後期後葉：和田編年11期 (文献7の10期、文献4のTK43・TK209型式期に対応)

### 【参考文献】

1. 清水真一 1992「因幡・伯耆地域」正岡睦夫・松本岩雄編『弥生土器の様式と編年』山陽・山陰編 木耳社
2. 谷口恭子・前田均1991「第4章まとめ 第2節遺物について」『岩吉遺跡Ⅲ』鳥取市文化財報告書30
3. 牧本哲雄 1999「古墳時代の土器について」『長瀬高浜遺跡Ⅷ 園第6遺跡』鳥取県教育文化財団調査報告書61
4. 田辺昭三 1981『須恵器大成』角川書店
5. 小口英一郎・北島大輔・原あづさ 2004「八橋8・9遺跡における6～7世紀の土器編年」『八橋8・9遺跡』鳥取県教育文化財団調査報告書87
6. 和田晴吾1987「古墳時代の時期区分をめぐって」『考古学研究』32-2 考古学研究会
7. 広瀬和雄1991「前方後円墳の畿内編年」『前方後円墳集成』中国・四国編 山川出版社
8. 中森 祥 2006「鳥取県における中世後期土師器の展開」『調査研究紀要』1 鳥取県埋蔵文化財センター
9. 山陰中世土器検討会編2008『山陰地方における備前焼』第7回山陰中世土器検討会資料
10. 横田賢次郎・森田 勉 1978「大宰府出土の輸入中国陶磁器について」『九州歴史資料館研究論集』4
11. 上田秀夫 1982「14～16世紀の青磁碗の分類について」『貿易陶磁研究』NO.2 日本貿易陶磁研究会

# 目 次

序  
序文  
例言  
凡例

## 第1章 調査の経緯

第1節 調査に至る経緯	(小口) 1
第2節 調査の方法と経過	(小口) 1
第3節 調査体制	(小口) 3

## 第2章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境	(小口) 4
第2節 歴史的環境	(小口) 5

## 第3章 調査の成果

第1節 松原古墳群の概要	(小口) 9
第2節 遺跡の立地と層序	(北) 14
第3節 調査成果	18
1 古墳	
20号墳	(岩垣) 18
21号墳	(小口) 20
22号墳	(岩垣) 40
23号墳	(岩垣) 45
24号墳	(北) 48
25号墳	(北) 52
27号墳	(北・岩垣) 55
28号墳	(北) 65
29号墳	(岩垣) 79
30号墳	(北) 81
2 竪穴住居跡	(北) 83
3 段状遺構	(北) 83
4 集石	(小口) 86
5 土坑	(小口) 94
6 埋設土器	(小口) 97
7 遺構外出土遺物	(小口・北) 98
遺物観察表	101

## 第4章 自然科学分析の成果

第1節 松原21号墳出土ガラス小玉の科学的調査	(野田) 109
-------------------------	----------

## 第5章 総括

第1節	松原古墳群の形成過程	(北)	119
第2節	古墳構築方法の変遷	(北・岩垣)	121
第3節	鳥取平野周辺古墳群における松原古墳群の位置づけ	(岩垣・北)	128
第4節	まとめ	(小口)	133

### 写真図版

### 挿図目次

第1図	遺跡位置図	4	第35図	23号墳主体部	47
第2図	周辺遺跡分布図	7	第36図	24・25・30号墳墳丘平面図	49
第3図	松原古墳群と調査地の位置	9	第37図	24号墳墳丘土層断面図	50
第4図	調査前地形測量図	10	第38図	24号墳主体部・墳丘出土遺物	51
第5図	古墳配置図	11・12	第39図	25号墳墳丘土層断面図	52
第6図	調査後地形測量図	13	第40図	25号墳主体部	53
第7図	調査地基本層序	15・16	第41図	25号墳主体部遺物出土状況図	54
第8図	20号墳出土遺物	18	第42図	25号墳出土遺物	54
第9図	20号墳墳丘平面図・土層断面図	19	第43図	27号墳墳丘平面図・土層断面図	57・58
第10図	21号墳新段階墳丘平面図	21・22	第44図	27号墳第1主体部	59
第11図	21号墳墳丘土層断面図	23・24	第45図	27号墳古段階墳丘平面図	60
第12図	21号墳第1主体部平面図・土層断面図 および墓壙上面出土遺物	25	第46図	27号墳第2主体部	61
第13図	21号墳第1主体部遺物出土状況図(1)	26	第47図	27号墳第2主体部木棺痕跡・埋葬面	62
第14図	21号墳第1主体部遺物出土状況図(2) および出土遺物(1)	27	第48図	27号墳第2主体部出土遺物	63
第15図	21号墳第1主体部出土遺物(2)	28	第49図	27号墳墳丘出土遺物	64
第16図	21号墳第2主体部	30	第50図	28号墳墳丘平面図	66
第17図	土坑10・11	30	第51図	28号墳墳丘・石室土層断面図	67・68
第18図	21号墳古段階墳丘平面図	31・32	第52図	28号墳横穴式石室展開図(1)	70
第19図	21号墳第3主体部	33	第53図	28号墳横穴式石室展開図(2)	71
第20図	21号墳第3主体部遺物出土状況図(東半)	34	第54図	28号墳横穴式石室検出平面図・断面図	72
第21図	21号墳第3主体部出土遺物(1)	34	第55図	28号墳横穴式石室平面図	73・74
第22図	21号墳第3主体部遺物出土状況図(西半)	35	第56図	28号墳横穴式石室遺物出土状況図	77
第23図	21号墳第3主体部出土遺物(2)	35	第57図	28号墳石室内出土遺物	78
第24図	21号墳第3主体部出土遺物(3)	36	第58図	28号墳墳丘出土遺物	78
第25図	21号墳第3主体部出土遺物(4)	37	第59図	29号墳墳丘平面図	79
第26図	21号墳第4主体部	38	第60図	29号墳墳丘土層断面図	80
第27図	21号墳墳丘遺物出土状況図	38	第61図	29号墳墳丘出土遺物	80
第28図	21号墳墳丘出土遺物	39	第62図	30号墳平面図	81
第29図	22号墳墳丘平面図	41	第63図	30号墳墳丘土層断面図・主体部 および墳丘出土遺物	82
第30図	22号墳墳丘土層断面図	42	第64図	竪穴住居跡1	83
第31図	22号墳墳丘遺物出土状況図	43	第65図	段状遺構1	83
第32図	22号墳主体部および主体部・墳丘出土遺物	44	第66図	段状遺構1出土遺物	84
第33図	23号墳墳丘平面図	45	第67図	段状遺構2	84
第34図	23号墳墳丘土層断面図	46	第68図	段状遺構3	85
			第69図	集石1～4配置図	87

## 挿図目次

第70図	集石 1	88	第86図	土錘	99
第71図	集石 2	88	第87図	石器	100
第72図	集石 3・4	89	第88図	ガラス小玉の蛍光X線スペクトル(1)	111
第73図	テラス部遺構配置図	89	第89図	ガラス小玉の蛍光X線スペクトル(2)	112
第74図	テラス部出土遺物	90	第90図	ガラス小玉の蛍光X線スペクトル(3)	113
第75図	集石 5	90	第91図	ガラス小玉の蛍光X線スペクトル(4)	114
第76図	集石 5 出土遺物(1)	91	第92図	ガラス小玉の蛍光X線スペクトル(5)	115
第77図	集石 5 出土遺物(2)	92	第93図	ガラス小玉の蛍光X線スペクトル(6)	116
第78図	集石 5 出土遺物(3)	93	第94図	ガラス小玉の蛍光X線スペクトル(7)	117
第79図	集石 5 出土遺物(4)	94	第95図	ガラス小玉の蛍光X線スペクトル(8)	118
第80図	土坑 1～6	95	第96図	松原古墳群出土土器の時期	120
第81図	土坑 7・8	96	第97図	松原21・27号墳の築造過程模式図	122
第82図	土坑 9	97	第98図	墳丘・埋葬施設構築方法の類型	123
第83図	土坑12	97	第99図	布勢5号墳墳丘土層断面	126
第84図	埋設土器	98	第100図	周辺地域の横穴式石室	132
第85図	丘陵・谷部遺構外出土遺物	99			

## 挿表目次

表 1	新旧遺構名対照表	2	表12	鉄製品観察表	107
表 2	土器観察表(1)	101	表13	石塔類観察表(1)	107
表 3	土器観察表(2)	102	表14	石塔類観察表(2)	108
表 4	土器観察表(3)	103	表15	石器観察表	108
表 5	土器観察表(4)	104	表16	松原古墳群の変遷	121
表 6	土製品観察表	104	表17	周辺古墳群の墳丘・埋葬施設構築方法	125
表 7	石製管玉観察表	105	表18	周辺古墳群の展開	129
表 8	ガラス小玉観察表(1)	105	表19	古墳要素の変遷	131
表 9	ガラス小玉観察表(2)	106	表20	周辺地域の横穴式石室一覧	132
表10	土製丸玉観察表	106	表21	松原古墳群調査一覧表	136
表11	耳環観察表	106			

## 図版目次

巻頭図版		巻頭図版 8	1. 23号墳断ち割り	
巻頭図版 1	1. 調査地周辺空撮	巻頭図版 8	2. 27号墳第2主体部木棺痕跡検出状況	
	2. 古墳群全景	文中写真		
巻頭図版 2	古墳群全景	写真 1	谷部トレンチ 1	2
巻頭図版 3	1. 21号墳第 1 主体部遺物出土状況	写真 2	谷部トレンチ 3	2
	2. 21号墳第 1 主体部出土遺物	写真 3	横穴式石室の調査風景	8
巻頭図版 4	21号墳第 3 主体部遺物出土状況	写真 4	現地説明会	8
巻頭図版 5	1. 21号墳第 3 主体部出土遺物	写真 5	ガラス小玉の顕微鏡写真	110
	2. 21号墳第 3 主体部出土ガラス小玉	巻末図版		
巻頭図版 6	1. 28号墳横穴式石室検出状況	PL. 1	1. 調査地周辺空撮	
	2. 28号墳横穴式石室検出状況		2. 調査地西側調査前状況	
	3. 28号墳横穴式石室奥壁検出状況	PL. 2	1. 21号墳・22号墳調査前状況	
巻頭図版 7	1. 28号墳横穴式石室東側壁検出状況		2. 21号墳・29号墳調査前状況	
	2. 28号墳横穴式石室西側壁検出状況	PL. 3	1. 23号墳・27号墳調査前状況	

- |       |                        |                  |
|-------|------------------------|------------------|
|       | 2. 24号墳・25号墳調査前状況      | 3. 土坑10土層断面      |
| PL.4  | 1. 古墳群全景俯瞰             | 4. 土坑11土層断面      |
|       | 2. 古墳群全景               | 5. 土坑11土層断面      |
| PL.5  | 古墳群全景                  | PL.21            |
| PL.6  | 1. 20号墳墳丘検出状況          | 1. 22号墳墳丘検出状況    |
|       | 2. 20号墳完掘状況            | 2. 22号墳流土堆積状況    |
| PL.7  | 1. 20号墳流土堆積状況          | 3. 22号墳東側周溝土層断面  |
|       | 2. 20号墳周溝土層断面          | 4. 22号墳南側断ち割り    |
|       | 3. 20号墳断ち割り            | PL.22            |
|       | 4. 20号墳盛土除去後           | 1. 22号墳北側断ち割り    |
| PL.8  | 1. 21号墳新段階墳丘検出状況       | 2. 22号墳東側断ち割り    |
|       | 2. 21号墳新段階流土堆積状況       | 3. 22号墳西側断ち割り    |
| PL.9  | 1. 21号墳北側周溝土層断面        | PL.23            |
|       | 2. 21号墳新段階西側周溝土層断面     | 1. 22号墳完掘状況      |
|       | 3. 21号墳古段階西側周溝土層断面     | 2. 22号墳主体部検出状況   |
|       | 4. 21号墳東側断ち割り          | 3. 22号墳主体部完掘状況   |
| PL.10 | 1. 21号墳西側断ち割り          | PL.24            |
|       | 2. 21号墳南側断ち割り          | 1. 22号墳主体部土層断面   |
|       | 3. 21号墳新段階盛土断面         | 2. 22号墳主体部土層断面   |
|       | 4. 21号墳新段階盛土断面         | 3. 22号墳主体部土層断面   |
| PL.11 | 1. 21号墳第1主体部・第2主体部検出状況 | 4. 22号墳主体部遺物出土状況 |
|       | 2. 21号墳第1主体部・第2主体部完掘状況 | 5. 22号墳主体部遺物出土状況 |
| PL.12 | 1. 21号墳第1主体部土層断面       | PL.25            |
|       | 2. 21号墳第1主体部土層断面       | 1. 22号墳主体部遺物出土状況 |
|       | 3. 21号墳第1主体部土層断面       | 2. 22号墳盛土除去後     |
| PL.13 | 21号墳第1主体部遺物出土状況        | PL.26            |
| PL.14 | 1. 21号墳第1主体部棺外遺物出土状況   | 1. 23号墳墳丘検出状況    |
|       | 2. 21号墳第1主体部遺物出土状況     | 2. 23号墳東側流土堆積状況  |
|       | 3. 21号墳第1主体部遺物出土状況     | 3. 23号墳西側流土堆積状況  |
| PL.15 | 1. 21号墳第2主体部完掘状況       | 4. 23号墳南側流土堆積状況  |
|       | 2. 21号墳第2主体部土層断面       | 5. 23号墳北側流土堆積状況  |
|       | 3. 21号墳第2主体部土層断面       | PL.27            |
|       | 4. 21号墳第2主体部遺物出土状況     | 1. 23号墳東側断ち割り    |
|       | 5. 21号墳第2主体部遺物出土状況     | 2. 23号墳西側断ち割り    |
| PL.16 | 1. 21号墳第3主体部完掘状況       | 3. 23号墳南側断ち割り    |
|       | 2. 21号墳第3主体部土層断面       | 4. 23号墳北側断ち割り    |
|       | 3. 21号墳第3主体部土層断面       | 5. 23号墳主体部土層断面   |
| PL.17 | 21号墳第3主体部遺物出土状況        | 6. 23号墳主体部土層断面   |
| PL.18 | 1. 21号墳第3主体部遺物出土状況     | PL.28            |
|       | 2. 21号墳第3主体部遺物出土状況     | 1. 23号墳完掘状況      |
|       | 3. 21号墳第3主体部遺物出土状況     | 2. 23号墳盛土除去後     |
| PL.19 | 1. 21号墳第4主体部完掘状況       | PL.29            |
|       | 2. 21号墳第4主体部土層断面       | 1. 24号墳墳丘検出状況    |
|       | 3. 21号墳第4主体部土層断面       | 2. 24号墳墳丘検出状況    |
|       | 4. 21号墳第4主体部土層断面       | 3. 24号墳東側流土堆積状況  |
| PL.20 | 1. 土坑10・土坑11完掘状況       | 4. 24号墳南側流土堆積状況  |
|       | 2. 土坑10土層断面            | 5. 24号墳北側流土堆積状況  |
|       |                        | PL.30            |
|       |                        | 1. 24号墳東側断ち割り    |
|       |                        | 2. 24号墳西側断ち割り    |
|       |                        | 3. 24号墳南側断ち割り    |
|       |                        | 4. 24号墳北側断ち割り    |
|       |                        | 5. 24号墳断ち割り南北断面  |
|       |                        | PL.31            |
|       |                        | 1. 24号墳完掘状況      |
|       |                        | 2. 24号墳主体部検出状況   |
|       |                        | 3. 24号墳主体部土層断面   |
|       |                        | 4. 24号墳主体部土層断面   |

- |       |                        |       |                                |
|-------|------------------------|-------|--------------------------------|
|       | 5. 24号墳盛土除去後           |       | 3. 28号墳北側周溝土層断面                |
| PL.32 | 1. 25号墳墳丘検出状況          | PL.46 | 1. 28号墳表土除去後石室石材検出状況           |
|       | 2. 25号墳墳丘検出状況          |       | 2. 28号墳石室検出状況                  |
|       | 3. 25号墳東側流土堆積状況        | PL.47 | 1. 28号墳石室土層断面                  |
|       | 4. 25号墳南側流土堆積状況        |       | 2. 28号墳石室土層断面                  |
|       | 5. 25号墳北側流土堆積状況        |       | 3. 28号墳石室土層断面                  |
| PL.33 | 1. 25号墳東側断ち割り          | PL.48 | 1. 28号墳石室羨道部土層断面               |
|       | 2. 25号墳西側断ち割り          |       | 2. 28号墳石室玄室部土層断面               |
|       | 3. 25号墳断ち割り南北断面        |       | 3. 28号墳石室玄室部土層断面               |
| PL.34 | 1. 25号墳完掘状況            | PL.49 | 1. 28号墳石室玄室部主軸ベルト土層断面          |
|       | 2. 25号墳主体部検出状況         |       | 2. 28号墳石室玄室部羨道部東側壁最上段礫配<br>列状況 |
|       | 3. 25号墳主体部土層断面         |       | 3. 28号墳石室奥壁検出状況                |
|       | 4. 25号墳主体部土層断面         | PL.50 | 1. 28号墳石室東側壁検出状況               |
|       | 5. 25号墳主体部土層断面         |       | 2. 28号墳石室西側壁検出状況               |
| PL.35 | 1. 25号墳主体部遺物出土状況       |       | 3. 28号墳石室閉塞施設検出状況              |
|       | 2. 25号墳主体部遺物出土状況       | PL.51 | 1. 28号墳石室閉塞施設検出状況              |
| PL.36 | 1. 25号墳主体部遺物出土状況       |       | 2. 28号墳石室閉塞施設検出状況              |
|       | 2. 25号墳主体部遺物出土状況       |       | 3. 28号墳石室玄室内遺物出土状況             |
|       | 3. 25号墳盛土除去後           | PL.52 | 1. 28号墳石室玄室内遺物出土状況             |
| PL.37 | 1. 27号墳墳丘検出状況          |       | 2. 28号墳石室玄室内耳環出土状況             |
|       | 2. 27号墳墳丘検出状況          |       | 3. 28号墳石室羨道部遺物出土状況             |
| PL.38 | 1. 27号墳東側流土堆積状況        | PL.53 | 1. 28号墳石室奥壁掘方土層断面              |
|       | 2. 27号墳西側流土堆積状況        |       | 2. 28号墳石室玄室西側掘方土層断面            |
|       | 3. 27号墳南側流土堆積状況        |       | 3. 28号墳石室玄室東側掘方土層断面            |
|       | 4. 27号墳北側流土堆積状況        | PL.54 | 1. 28号墳石室羨道東側掘方土層断面            |
|       | 5. 27号墳断ち割り南北断面        |       | 2. 28号墳石室羨道西側掘方土層断面            |
| PL.39 | 1. 27号墳東側断ち割り          |       | 3. 28号墳石室掘方完掘状況                |
|       | 2. 27号墳西側断ち割り          | PL.55 | 1. 29号墳完掘状況                    |
|       | 3. 27号墳第1主体部完掘状況       |       | 2. 29号墳東側周溝土層断面                |
| PL.40 | 1. 27号墳第1主体部土層断面       |       | 3. 29号墳西側周溝土層断面                |
|       | 2. 27号墳第1主体部・墳丘土層断面    | PL.56 | 1. 30号墳墳丘検出状況                  |
|       | 3. 27号墳第1主体部遺物出土状況     |       | 2. 30号墳南側周溝土層断面                |
|       | 4. 27号墳第1主体部遺物出土状況     |       | 3. 30号墳・24号墳重複関係               |
| PL.41 | 1. 27号墳第2主体部検出状況       | PL.57 | 1. 30号墳完掘状況                    |
|       | 2. 27号墳第2主体部土層断面       |       | 2. 30号墳主体部完掘状況                 |
|       | 3. 27号墳第2主体部棺外遺物出土状況   |       | 3. 30号墳主体部土層断面                 |
|       | 4. 27号墳第2主体部土層断面       |       | 4. 30号墳主体部土層断面                 |
| PL.42 | 1. 27号墳第2主体部木棺痕跡掘り下げ状況 | PL.58 | 1. 盛土除去後全景                     |
|       | 2. 27号墳第2主体部遺物出土状況     |       | 2. 盛土除去後全景                     |
|       | 3. 27号墳第2主体部完掘状況       | PL.59 | 1. 竪穴住居跡1遺物出土状況                |
| PL.43 | 1. 28号墳墳丘検出状況          |       | 2. 竪穴住居跡1・段状遺構3土層断面            |
|       | 2. 28号墳流土堆積状況          | PL.60 | 1. 段状遺構1完掘状況                   |
| PL.44 | 1. 28号墳流土堆積状況          |       | 2. 段状遺構1土層断面                   |
|       | 2. 28号墳流土堆積状況          | PL.61 | 1. 段状遺構1土層断面                   |
|       | 3. 28号墳流土堆積状況          |       | 2. 段状遺構2完掘状況                   |
| PL.45 | 1. 28号墳東側周溝土層断面        |       | 3. 段状遺構2土層断面                   |
|       | 2. 28号墳西側周溝土層断面        |       |                                |

- PL.62 1. 段状遺構3完掘状況  
2. 段状遺構3土層断面  
3. 段状遺構3床面検出状況
- PL.63 1. 集石1検出状況  
2. 集石3検出状況  
3. 集石4検出状況  
4. 集石5検出状況  
5. 集石5検出状況
- PL.64 1. 集石5検出状況  
2. 集石5検出状況  
3. 土坑1検出状況  
4. 土坑1完掘状況  
5. 土坑1土層断面  
6. 土坑2完掘状況  
7. 土坑2土層断面
- PL.65 1. 土坑3完掘状況  
2. 土坑3土層断面  
3. 土坑4礫検出状況  
4. 土坑4完掘状況  
5. 土坑4土層断面  
6. 土坑5完掘状況  
7. 土坑5土層断面  
8. 土坑6完掘状況
- PL.66 1. 土坑7完掘状況  
2. 土坑7礫検出状況  
3. 土坑8完掘状況  
4. 土坑8検出状況  
5. 土坑12完掘状況  
6. 埋設土器検出状況
- PL.67 1. 土坑9完掘状況  
2. 谷部トレンチ1  
3. 谷部トレンチ3
- PL.68 1. 20号墳・包含層出土中世土器  
2. 21号墳第1主体部出土土器  
3. 21号墳第1主体部出土土器
- PL.69 21号墳第1主体部出土土器
- PL.70 1. 21号墳第1主体部出土土器  
2. 21号墳第1主体部出土鉄刀
- PL.71 1. 21号墳第2主体部出土土器  
2. 21号墳第3主体部出土土器
- PL.72 21号墳第3主体部出土土器
- PL.73 21号墳第3主体部出土土器
- PL.74 1. 21号墳第3主体部出土玉類  
2. 管玉X線写真  
3. 21号墳第3主体部出土管玉・丸玉
- PL.75 21号墳盛土・周溝出土土器
- PL.76 1. 21号墳盛土・周溝出土土器  
2. 22号墳出土土器
- PL.77 1. 22号墳出土土器  
2. 22・24・25・27・30号墳出土土器
- PL.78 25号墳主体部出土土器
- PL.79 25号墳主体部出土土器
- PL.80 27号墳第1主体部出土遺物
- PL.81 27号墳第2主体部出土土器
- PL.82 27号墳第2主体部出土土器
- PL.83 28号墳出土土器
- PL.84 21・22・27・28号墳出土金属器
- PL.85 21・22・27・28号墳出土金属器X線写真
- PL.86 段状遺構1出土土器
- PL.87 1. 段状遺構1出土土器  
2. 五輪塔(空風輪)
- PL.88 1. 五輪塔(火輪)  
2. 五輪塔(水輪)
- PL.89 1. 五輪塔(地輪)  
2. 宝篋印塔(笠)
- PL.90 1. 五輪塔(地輪)  
2. 宝篋印塔(笠)  
3. 宝篋印塔(基礎)
- PL.91 1. 宝篋印塔(相輪)  
2. 宝篋印塔(笠)  
3. 宝篋印塔(基壇)
- PL.92 1. 宝篋印塔(塔身)  
2. 宝篋印塔(基礎)  
3. 一石五輪塔  
4. 石塔
- PL.93 1. 埋設土器  
2. 土錘  
3. 石器  
4. 鎌  
5. 鎌X線写真
- PL.94 1. 土坑7・遺構外出土土器  
2. 21号墳第3主体部出土ガラス小玉のCR画像

# 第1章 調査の経緯

## 第1節 調査に至る経緯

本調査は一般国道9号鳥取西道路の改築工事に伴い、鳥取市松原地内の工事予定地内に所在する周知の埋蔵文化財包蔵地である松原古墳群の記録作成を目的として、平成20年度に行ったものである。

山陰地方では、国道9号線の交通混雑緩和、荒天時の交通障害解消、災害時の緊急輸送の代替路線確保及び将来の国土幹線道路整備として、山陰自動車道の整備事業が進められている。鳥取県東部地域では、中国横断自動車道姫路鳥取線が一部共用開始され、鳥取市西部では青谷羽合道路が開通している。

鳥取西道路の計画地内及び隣接地には、多数の周知の遺跡があり、建設に先立って計画地内の遺跡並びに遺跡の範囲を確認する必要性が生じた。このため、平成19年度から鳥取市教育委員会によって、国庫補助事業として逐次試掘・確認調査が行われた。

その結果を受け、文化財保護法に基づく手続きを踏まえて平成20年度に、鳥取県埋蔵文化財センターが国土交通省鳥取河川国道事務所の委託を受けて調査主体となり、松原古墳群、本高弓ノ木遺跡の2遺跡の発掘調査を実施した。

このうち周知の遺跡である松原古墳群は、鳥取市教育委員会が平成19年度に国庫補助事業として試掘調査を行い、遺構及び遺物を確認したもので、県遺跡台帳に登録された28基の古墳群のうち、調査地内には20・21・22・23・24・25・27・28号墳の8基が存在していた。

## 第2節 調査の方法と経過

### 1 調査地の名称と調査方法(第4・5図)

松原古墳群は、湖山池南岸を臨む標高約21～35mの丘陵上に立地する。調査地を本報告の記述上、以下、古墳群が立地する「丘陵部」、中世墓などが構築される調査地北側の「テラス部」、さらに南側の「谷部」と便宜的に呼称する。いずれも地目は山林であった。各地区の基準点及び方眼測量については、世界測地系公共座標第V系に載るように調査区内に10m方眼の基準杭を設定し、グリッドを設けた。東西南北軸交点の北東杭の名称を採ってグリッド名とした。座標は、B2杭(X:-56220m、Y:-17690m)、G5杭(X:-56249m、Y:-17740m)のように呼称した。標高値は、水準点KBM-B6の2.372mを使用している。

検出した遺構・遺物の記録には、光波トランシット及び自動レベルを用い、簡易遣り方測量及び光波トランシットによる座標測量を行った。現地での写真撮影は35mm判、プロニー(6×7)判及び4×5判カメラにより地上又は写真用足場上から行った。また、調査前状況及び遺跡完掘状況写真については、ラジコンヘリコプターからの空中写真撮影(プロニー判カメラ使用)も併せて行った。遺物写真撮影は、プロニー(6×7)判及び4×5判カメラを用いた。いずれも白黒ネガフィルム並びにカラーポジフィルムを使用し、適宜デジタルカメラも使用した。

### 2 調査の経過

発掘調査準備段階として、4月9日に調査前航空写真撮影、4月4日から基準点・方眼測量及び調査前地形測量を実施した。その後、4月14日から発掘作業員を稼動し、発掘調査に着手した。発掘調

査は、安全確保のための環境整備と、谷部の遺物包含層の有無を確認するためのトレンチ調査から実施した。トレンチは5×2mの規模で、谷部の主軸に沿って2ヶ所(トレンチ1・2)、丘陵部との境である谷尻に1ヶ所(トレンチ3)の計3ヶ所設定している(第6図)。その結果、表土に中近世の遺物が含まれていた以外には、無遺物の流土堆積を数層確認したのみであったため、調査対象外とした(写真1・2、PL.67)。同時に丘陵部では古墳群の配置や新旧関係を把握するためのトレンチ調査を実施した。この段階で少なくとも8基の古墳(20～25・27・28号墳)が存在すること、28号墳が最も新しく構築されていることが確認された。5月から古墳の全面調査に着手した。まず、丘陵先端部の20・21号墳、尾根上方の24・25号墳の表土剥ぎ作業を開始し、6月末に20・21・24・25・28号墳の表土・流土の除去が終了した。その後、墳丘測量と並行しながら周溝掘削・主体部検出作業を実施した。25号墳では土師器の脚付碗6個体が副葬された主体部が検出され、22号墳では一部攪乱を受けてはいるものの須恵器などが主体部から出土している。7月から調査地内で唯一の横穴式石室を有する28号墳の調査に着手した。その結果、石室内では後世の盗掘によって副葬品は確認されなかったが、天井部を除いた石室本体は良好に遺存していることがわかり、全長約6.2mの右片袖式であることが明らかとなった。9月25日から盛土掘削と並行しながら石室解体作業を開始し、10月6日に終了している。28

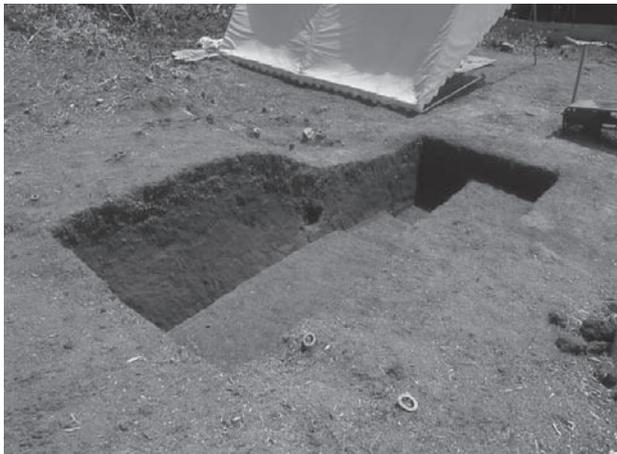


写真1 谷部トレンチ1 (北東から)



写真2 谷部トレンチ2 (南西から)

表1 新旧遺構名対照表

報告時遺構名	調査時遺構名	報告時遺構名	調査時遺構名
20号墳	仮1号墳	土坑3	土坑3
21号墳	仮2号墳	土坑4	土坑4
22号墳	仮3号墳	土坑5	土坑5
23号墳	仮5号墳	土坑6	土坑6
24号墳	仮7号墳	土坑7	土坑8
25号墳	仮8号墳	土坑8	集石2
27号墳	仮6号墳	土坑9	土坑9
28号墳	仮4号墳	土坑10	仮2号墳第1主体部
29号墳	仮0号墳	土坑11	仮2号墳第2主体部
30号墳	仮9号墳	集石1	集石1
竪穴住居跡1	S I 1	集石2	仮4号墳北側周溝出土礫
段状遺構1	S S 1	集石3	集石4
段状遺構2	S S 2	集石4	集石5
段状遺構3	S S 3	集石5	集石6・7・8
土坑1	土坑1	埋設土器	埋設土器
土坑2	土坑2		

号墳盛土下から古墳時代前期の段状遺構2基を検出し、調査を行った。9月初旬に23・27号墳の調査を開始し、27号墳では新旧2段階の主体部2基が確認された。同時に調査地で最大規模を誇る21号墳では新旧2段階の主体部4基が確認され、須恵器、鉄刀、鉄鏃、玉類などの副葬品が出土している。この期間に新たに2基の古墳(29・30号墳)が検出され調査地全体で円墳8基、方墳または楕円形墳2基の計10基となった。9月下旬から10月初旬にかけてテラス部の調査に着手し、中世墓7基、廃棄された石塔群の集石1ヶ所などを確認した。9月中旬以降全ての古墳盛土除去に着手し、10月10日に現地での発掘調査を終了した。調査地全体で古墳10基、竪穴住居跡1棟、段状遺構2基、土坑12基、集石5基、埋設土器1ヶ所を検出した。

9月14日には現地説明会を開催し、県内外から70名の方々に参加いただいた。9月12日に航空写真撮影、10月14日から調査後地形測量を実施し、10月23日に現地に関する全ての作業を終了した。調査面積は、3974.8㎡である。

室内整理作業および報告書の執筆は平成20年度中に行い、報告書の印刷を平成21年度に行った。

### 第3節 調査体制

下記の体制で発掘調査、報告書作成を行った。

#### 鳥取県埋蔵文化財センター

所 長	久保 穰二郎
次 長	田村 隆志 (兼総務係長 6月30日異動・転出)
総 務 係	
係 長	梅山 昭美 (7月1日異動)
副 主 幹	福島 良
主 事	浜辺 奈都美

#### 発掘事業室

室 長	山栴 雅美 (兼調整係長)
調 整 係	
文化財主事	濱 隆造

#### 調査担当 (美和調査事務所)

文化財主事	小口 英一郎 (調査担当責任者)、野田 真弓、北 浩明
発掘調査員	岩垣 命

## 第2章 遺跡の位置と環境

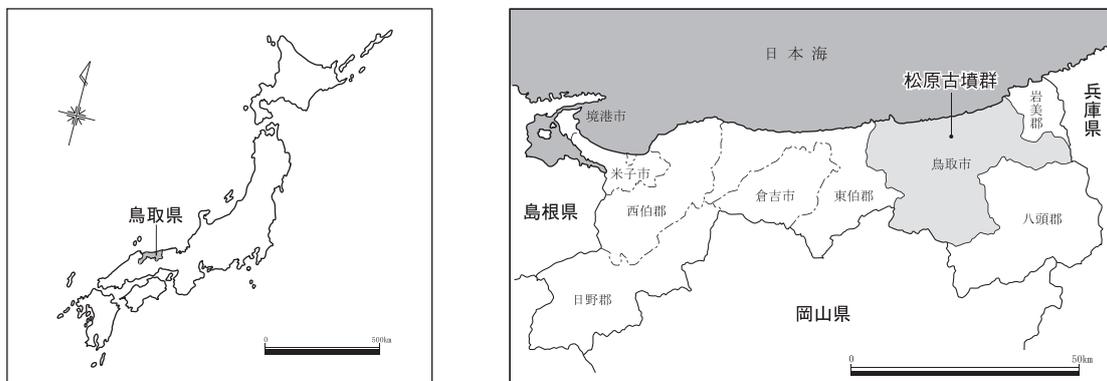
### 第1節 地理的環境

松原古墳群が所在する鳥取市は、鳥取県東部に位置し、東は兵庫県境の岩美町・若桜町、西は湯梨浜町、南は智頭町と接し、北は日本海に面する。平成16年11月に旧鳥取市周辺の郡部町村(国府町、福部村、河原町、用瀬町、佐治村、気高町、鹿野町、青谷町)との市町村合併が成立し、総面積765.66km<sup>2</sup>、人口約20万人を擁する県庁所在地である。

地勢は、東、西、南の三方を山に囲まれ、北方には鳥取砂丘、日本海が広がっている。平野中央部には中国山地の奥深く沖ノ山(標高1,319m)に源を発する総延長56.8kmの河川である千代川とその支流である野坂川、袋川等が、平野を二分して貫流し日本海へと注いでいる。鳥取平野はかつて更新世～完新世初期には鳥取湾(鳥取潟)と称される入海あるいは潟湖であって、縄文時代前期以降の海退による沼沢地化と古墳時代以後に千代川が運ぶ膨大な土砂の堆積により形成された沖積低地である<sup>(註)</sup>。平野の西端には県下最大の潟湖である湖山池がある。湖山池は周囲18km、面積7.25 km<sup>2</sup>を測り、かつては入海だったものが砂州で湾口部が閉塞され潟湖化したものである。内湾の面影は旧海島である青島、天神山、山王山、足山などの岩島地形の波蝕崖に残されている。この地域の低地にはかつての沼沢地の拡大に伴い水性植物が生育し、厚さ数メートルにも及ぶ「ガマクソ」と呼ばれる未分解植物遺体層(泥炭)の堆積が顕著に認められる。湖山池周辺の山地形は、南西方向に聳える高山などの1,000mクラスの山地から北方に段階的に高度を下げており、海拔400m以下の山地は起伏が小さく、湖山川、野坂川などの中小河川が山間をぬって放射状に延びている。

松原古墳群は、これらならかな山地形がいくつも枝分かれし、かつて入海中に岬状に突出したであろう火成岩地帯の支尾根の1つ、標高21～35mに立地している。現湖山池南岸から約300m、日本海までは約4kmの位置である。遺跡南西には、江戸時代藩主池田家の湯治場として賑わった吉岡温泉があり、西方は吉岡川、湖山川によって形成された沖積低地が広がっている。

(註) 豊島吉則 1983 「鳥取の自然と人文・地形」『新修 鳥取市史』第一巻



第1図 遺跡位置図

## 第2節 歴史的環境

**縄文時代** 鳥取市域の西端、白兎海岸から1 km余り内陸の内海中所在遺跡(148)で前期中頃の磯ノ森式、後期の元住吉山式土器が採集されている。前期末の大歳山式土器が千代川東岸の丘陵上に立地する美和古墳群(43)、湖山池南東岸の低湿地遺跡である桂見遺跡(107)から少量出土している。中期の遺跡として砂丘地に立地する栃木山遺跡(8)、追後遺跡(2)、天神山遺跡(100)、旧福部村の直浪遺跡、栗谷遺跡があげられる。後期に至り湖山池南東岸では、桂見遺跡、東桂見遺跡(106)、布勢第1遺跡(103)、青島遺跡(113)など遺跡が増加する。とくに桂見遺跡では全長7.2mと全長6.4mの丸木舟2艘や数多くの遺物が出土し、当該地域では最大規模の縄文遺跡の1つである。布勢第1遺跡では木組みをもった水路や漆塗りの木製広口壺や腕輪が出土し、高度の漆技術が示された。千代川左岸の独立丘陵である釣山北西に位置する山ヶ鼻遺跡(62)では、後期後葉から晩期前葉の土器が出土する。晩期では、千代川左岸の支流である有富川流域に本高円ノ前遺跡(58)、千代川の自然堤防上に立地する古海遺跡(63)でまとめて突帯文土器が出土している。このほか湖山池東岸の岩本第2遺跡(128)、帆城遺跡(102)、湖山第2遺跡(97)、岩吉遺跡(92)、大柵遺跡(88)などで土器片が散見される。千代川右岸では、大路川遺跡で後期から晩期のトチ・アラカシなどの堅果類の貯蔵穴5基が検出された大路川遺跡(33)、少量の土器が出土した西大路土居遺跡(29)、古市遺跡(25)がある。これらの鳥取平野の縄文遺跡は集落像を明らかにしうる調査例は少ないものの、後期から遺跡数が増加し、後期後半から晩期において自然堤防上もしくは平野中心部の微高地へ進出する状況が窺える。

**弥生時代** 縄文晩期からの遺跡は断片的に営まれるが弥生開始期の具体的様相は明らかではない。前期の遺物を出土する遺跡として、千代川左岸では青島遺跡、岩吉遺跡、湖山第1・2遺跡(96・97)、布勢第1遺跡、桂見遺跡、帆城遺跡、天神山遺跡、身干山遺跡(146)、同右岸では西大路土居遺跡などがあげられる。なかでも岩吉遺跡は最も古い要素をもつ弥生土器が出土した遺跡であり、断続的に後期まで営まれた大規模集落と考えられる。中期中葉に古海遺跡、菖蒲遺跡(60)、山ヶ鼻遺跡、服部遺跡(57)、秋里遺跡(20)などが千代川の自然堤防上に出現する。中期後葉に至り帆城遺跡、湖山第2遺跡、布勢第2遺跡(104)、大柵遺跡、北村恵儀谷遺跡(70)など微高地上に遺跡が展開する。後期については、松原古墳群に隣接する松原谷田遺跡(116)、桂見遺跡、北村恵儀谷遺跡、釣山古墳群(59)、山ヶ鼻遺跡、菖蒲遺跡などで堅穴住居跡や掘立柱建物跡、土坑などが検出され、古墳時代まで継続する集落が急増する様子が窺える。

各種生産に関しては、玉作遺跡の調査例が増えている。直浪遺跡、秋里遺跡、布勢第2遺跡(104)、湖山第2遺跡、帆城遺跡、岩吉遺跡では前期末から後期までの玉作関連遺物が出土している。布勢第2遺跡では後期の玉作工房が検出され、緑色凝灰岩製の管玉、素材剥片、原石、砥石などが見つまっている。

祭祀遺跡として湖山池に浮かぶ青島遺跡、湧泉に展開した塞ノ谷遺跡(114)、秋里遺跡などがあり、高住字宮ノ谷(112)では扁平鈕式の流水文銅鐸が見つまっている。

墳墓では西大路土居遺跡で検出された前期末～中期中頭の土坑群の一部が土壙墓と指摘されている。下味野古墳群(55)で中期の土壙墓・木棺墓が見つまっている。中期中葉に旧郡家町万代寺遺跡で溝を伴う土坑墓群が検出されたが、鳥取平野における中期の墓制の様相は不明瞭な部分が多い。後期中頭の土壙墓が六部山古墳群(37)、甕棺が釣山古墳群で出土している。後期前葉に鳥取平野においては、千代川右岸で滝山猿懸平2号墓、紙子谷門上谷1・2号墓、旧郡家町下坂1号墓が造営される。

このうち紙子谷門上谷1号墓は長辺24m、26基の埋葬施設を有し、ガラス製管玉や鉄刀などが出土している。千代川左岸では湖山池南東岸地域の湖山池を望む丘陵上に墳丘墓が相次いで構築される。後期中葉の布勢鶴指奥1号墳丘墓(105)に始まり、四隅突出型墳丘墓である西桂見墳丘墓(109)、墳丘墓の可能性が指摘される桂見土壙墓群(108)と続く。桂見土壙墓群は丘陵頂部に石列と地山の浅い掘削によって12mの方形状の墓域を区画し、中心主体と想定される第1土壙墓からはガラス製勾玉、水銀朱などが認められた。このように後期において湖山池南東岸地域の急激な台頭が確認されるのである。

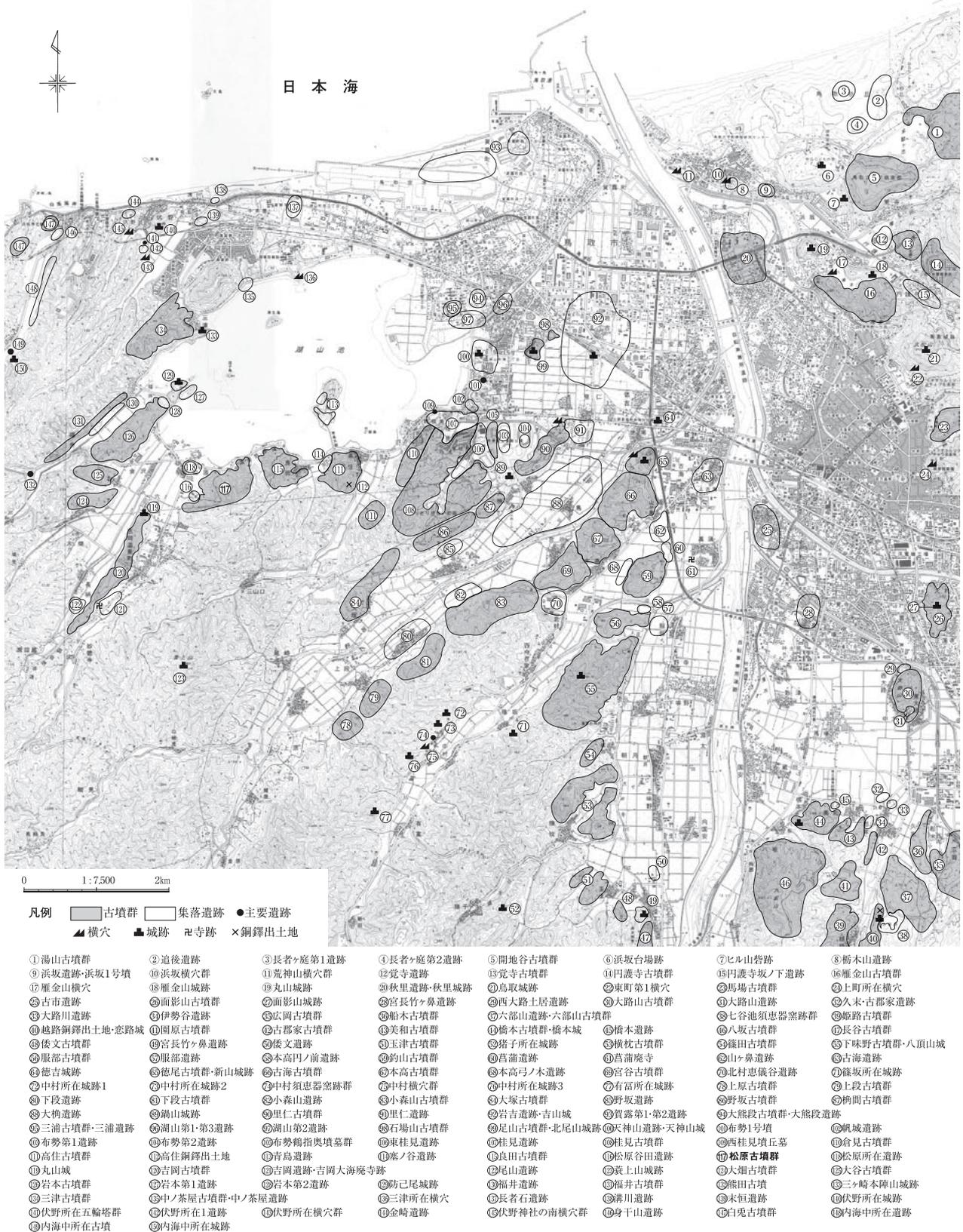
**古墳時代** 前期前半の古墳では、弥生時代から系譜を引く湖山池東南岸の桂見古墳群(108)、倉見古墳群(110)がある。桂見1号墳は長辺22m、2号墳は長辺28mの方墳であり、埋葬施設の木棺から舶載鏡2面が出土している。前期後半から中期初頭に倉見2～7号墳、桂見10・16号墳があり、いずれも直径10m前後の小規模古墳である。そのほか、長辺22mの方墳である釣山24号墳、古海古墳群(66)、徳尾古墳群(65)、横枕古墳群(53)、倭文古墳群(48)が前期古墳として知られている。このうち古海40号墳、横枕23号墳からは銅鏡が出土している。中期には前方後円墳として里仁29号墳(90、全長85m)、続いて柗間1号墳(87、全長92m)、前方後方墳では県内で最大規模を誇る古海36号墳(全長67m)が築かれる。方墳で構成される里仁古墳群(90)では、里仁32号墳から近畿地方の影響を受けた鱗付円筒埴輪が埴輪棺として出土している。下味野43号墳(55)では箱式石棺より鉄鉾が出土している。中期末～後期前葉の倭文6号墳の埋葬施設では、短甲と冑、鉄刀、鉄鏃、鉄鉾、馬具のセットなどが副葬されていた。後期に至り、小規模古墳が支稜線上に多く築かれる。湖山池周辺地域の前方後円墳として布勢1号墳(101、全長59m)、大熊段1号墳(94、全長46.5m)、三浦1号墳(95、全長36m)、桂見6号墳(全長24.5m)、釣山2号墳(全長26.4m)などがあげられる。

千代川左岸では横枕古墳群などの大規模調査によって、古墳の内部構造について様相が明らかになりつつある。横枕古墳群では、前期から後期の中心主体の埋葬形態は木棺直葬が主体であり、箱式石棺は用いられたとしても付随的な埋葬施設に限定されている。横穴式石室として6世紀中葉の葦岡長者古墳(120、吉岡1号墳)、後葉の倉見9号墳、熊田古墳(132)、時期不明の石場山5号墳(98)、高住12号墳(111)が確認されているだけである。このうち、松原古墳群(117)に最も近い葦岡長者古墳(吉岡1号墳)の横穴式石室内には箱式石棺があり、土師器、須恵器、鉄刀、刀子、馬具、鉄鏃、釣針などが副葬されていた。野坂川右岸の丘陵東斜面に立地する山ヶ鼻古墳(古海13号墳)は巨石を割りぬいた石棺式石室であり、後期～終末期古墳として貴重な存在である。

集落の様相は不明な部分が多いが、古墳時代から続くものとして湖山池周辺地域では布勢第2遺跡、桂見遺跡、帆城遺跡、湖山第1遺跡、湖山第2遺跡、天神山遺跡などがある。千代川左岸では岩吉遺跡、菖蒲遺跡、山ヶ鼻遺跡、大柗遺跡があり、このうち菖蒲遺跡では釣山裾の微高地から焼失住居が検出されている。中期から後期の集落として、実態は必ずしも明らかではないが秋里遺跡、塞ノ谷遺跡をあげることができる。秋里遺跡は弥生後期から平安時代と断続的に営まれる遺跡であり、土師器、土製・石製模造品などの祭祀遺物が数多く出土する。

**古代** 千代川右岸の古市遺跡では7世紀後半から平安時代にかけての掘立柱建物跡と奈良三彩小壺、墨書土器などが出土している。千代川左岸の菖蒲廃寺(61)では塔の心礎とみられる礎石が残り、この付近で土師百井式軒丸瓦が出土している。山ヶ鼻遺跡では菖蒲廃寺と同じ7世紀後半から平安時代にかけての掘立柱建物跡、溝状遺構、土坑などが、菖蒲遺跡では釣山沿いの微高地上から8世紀後半の総柱建物跡が検出されている。8世紀半ばのこの地域は、高草郡に帰属し、東大寺領高庭庄であっ

たことが、『東大寺東南院文書』「東大寺因幡国高草郡高庭庄坪付注進状案」で窺われる。これによると南北10条にわたり、条、里、郷、坪名が記載されており、条里制が施行されていたようであるが、実態は不明である。さらに、この付近は古代山陰道の通過地点として駅衙、郡衙の推定地でもあり、高草郡の主要な地であったことが推定される。菖蒲遺跡では9世紀後半の墨書土器が出土し、岩吉遺



第2図 周辺遺跡分布図

跡といった8～10世紀にかけての土器溜まり遺構や自然流路から567点にもおよぶ墨書土器、人形、「天長二年(825)税長」と記された題箋軸を含む木簡などを伴う遺跡がある。桂見遺跡堤谷地区では8世紀後半、9世紀後半の掘立柱建物跡や須恵器円面硯・転用硯が、八ッ割地区1D区では「米□□」と記された荷札木簡も出土していることから、役所末端の出先機関等が推測されている。とくに湖山池周辺は、東大寺領の庄園である「高庭庄」があり、『東大寺東南院文書』『因幡国司解』には「倉見葦原」「倉見地」などの記述がみられ、湖山池東南岸の倉見地区が湖山池に運ばれてきた物資や文化が内陸部に入っていく拠点としての「津」であった可能性が指摘されている。

中世 山ヶ鼻遺跡や菖蒲遺跡では輸入陶磁器が多数出土している。貞治3年(1364)、因幡守護に山名氏が任じられる。山名氏は15世紀に入って守護所を布勢に移して布勢天神山城を築き、鳥取城へ移るまでの100年もの間、因幡支配の拠点となった。17世紀後半の古絵図には天神山城周辺の様子が描かれており、一部調査されて内堀、土塁、井戸、焼け落ちた建物跡などが検出されている。「葬地」とされた布勢鶴指奥墳墓群では84基もの土壙墓が検出され、桂見墳墓群、西桂見遺跡、大熊段遺跡、三浦遺跡、里仁古墳群、徳尾古墳群、釣山古墳群で多数の中世墓が確認されていることから、この周辺に大規模な墓域が構えられていたことが窺える。そのほか、中世の倉庫跡が布勢第2遺跡で、長さ45m以上の土塁状遺構が西桂見遺跡で検出されている。

【参考文献】

鳥取県埋蔵文化財センター編・発行1986『鳥取県の古墳』鳥取県埋蔵文化財シリーズ1

鳥取県埋蔵文化財センター編・発行1987『弥生時代の鳥取県』鳥取県埋蔵文化財シリーズ2

鳥取県埋蔵文化財センター編・発行1989『歴史時代の鳥取県』鳥取県埋蔵文化財シリーズ4

鳥取県埋蔵文化財センター編・発行2008『古墳時代Ⅰ 古墳』鳥取県の考古学 第4巻

鳥取市編・発行1983『新修鳥取市史』第1巻古代・中世篇



写真3 横穴式石室の調査風景



写真4 現地説明会